

令和5年度 松戸市下水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

下水道事業は、公共用水域の水質保全や住民の生活環境の向上を目指し、下水道の効率的な整備・維持管理を行っています。

下水道施設整備については、未普及対策、浸水対策及び施設改築を重点的に実施しました。

未普及対策では32.83haの整備を実施し、浸水対策としては、松戸新田地区の浸水解消を目的とした長津川雨水幹線工事に令和2年度から着手し整備を進めています。施設改築では、「松戸市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、管路施設のカメラ調査及び小山ポンプ場のポンプ更新工事を実施しています。

(業務の状況)

本年度の普及率は88.96%で、前年度に比べ0.57ポイントの増加となりました。また、水洗化率は96.82%で前年度に比べ0.05ポイントの増加となりました。

有収水量は41,598,800 m³で、前年度に比べ152,284 m³の減少となり、有収率については、80.38%で、前年度に比べ0.98ポイントの増加となりました。

(経営の状況)

経営状況については、収益的収支における下水道事業収益11,344,062,293円に対し、下水道事業費用が10,878,299,852円となり、差し引き純利益は465,762,441円となりました。

また、資本的収支においては収入額5,261,954,966円に対し、支出額は8,341,585,200円となり、収支不足額3,079,630,234円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額190,148,059円、過年度分損益勘定留保資金120,215,311円、当年度分損益勘定留保資金2,569,266,864円、減債積立金200,000,000円で補てんしました。

(2) 経営指標に関する事項

経営の健全性を示す経常収支比率は105.39%で、前年度に比べ1.22ポイントの増加となりました。

償却資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は20.52%で、前年度に比べ3.13ポイントの増加となり、法定耐用年数を経過した管渠延長の割合を示す管渠老朽化率は10.46%で、前年度に比べ0.50ポイントの増加となりました。

2 会計

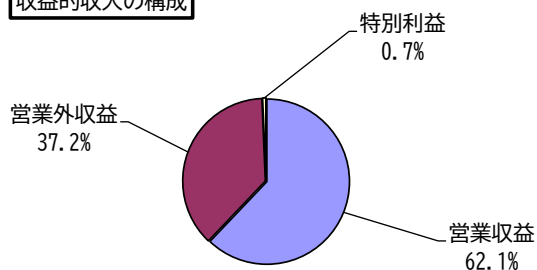
(1) 財政状況 令和5年度決算

○収益的収入及び支出
(下水道施設の維持管理などに係る経費)

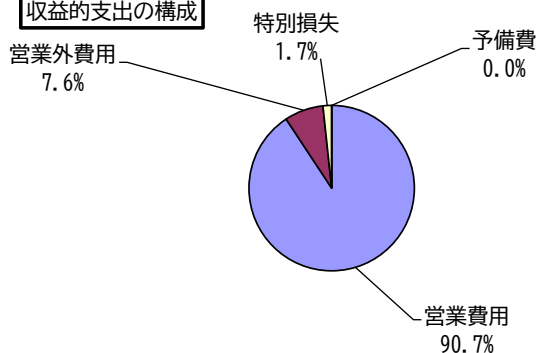
(単位：円)

	科目	説明	金額	構成比
下水道事業収益	営業収益	下水道使用料など	7,435,822,931	62.1%
	営業外収益	一般会計からの繰入金など	4,456,705,709	37.2%
	特別利益	過年度損益修正益	80,175,964	0.7%
	収入計		11,972,704,604	100.0%
下水道事業費用	営業費用	下水道管・処理場の維持管理費、減価償却費など	10,264,223,506	90.7%
	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費など	861,764,844	7.6%
	特別損失	過年度損益修正損など	190,770,854	1.7%
	予備費	不測の支出に充てるために計上	0	0.0%
支出計		11,316,759,204	100.0%	

収益的収入の構成



収益的支出の構成

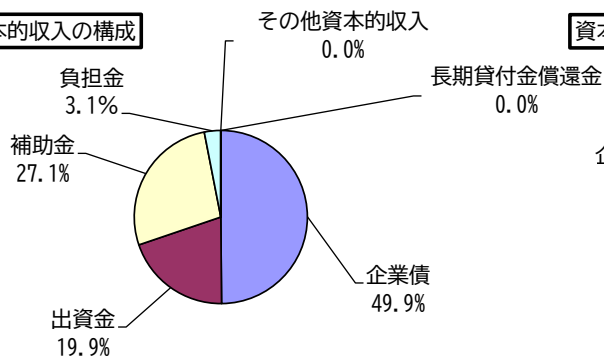


○資本的収入及び支出
(下水道施設の建設などに係る経費)

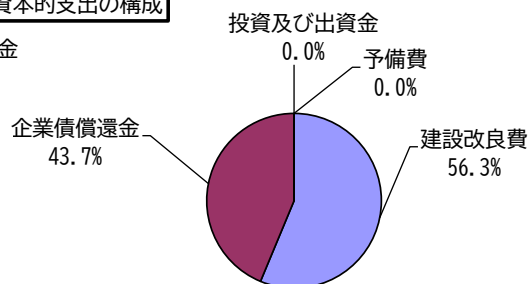
(単位：円)

	科目	説明	金額	構成比
資本的収入	企業債	企業債	2,624,000,000	49.9%
	出資金	他会計出資金	1,048,504,000	19.9%
	補助金	国からの補助金	1,428,411,600	27.1%
	負担金	下水道事業受益者負担金など	161,029,366	3.1%
	長期貸付金償還金	長期貸付金償還金	10,000	0.0%
	その他資本的収入	その他資本的収入	0	0.0%
	収入計		5,261,954,966	100.0%
資本的支出	建設改良費	下水道管の建設費用など	4,694,904,050	56.3%
	企業債償還金	企業債償還金	3,646,521,150	43.7%
	投資及び出資金	長期貸付金	160,000	0.0%
	予備費	不測の支出に充てるために計上	0	0.0%
支出計		8,341,585,200	100.0%	

資本的収入の構成



資本的支出の構成



○企業債現在高の推移

(単位：千円)	
	未償還元金
令和元年度	49,989,750
令和2年度	48,476,388
令和3年度	46,970,323
令和4年度	45,139,050
令和5年度	44,306,929

